

やさい王国 昭和村

フォトコンテスト作品募集



※第8回入賞作品より

テーマ

四季折々の昭和村の
風物や生活観が見える写真

応募 締切

2019年2月28日(木)
(当日消印有効)

入賞

グランプリ
1点: 賞状・賞金(100,000円)

一般の部門

優秀賞	3点: 賞状・賞金(20,000円)
特選	3点: 賞状・賞金(10,000円)
特別賞	20点以上: 賞状・賞品

ポスターの部門(縦長サイズ限定)

群馬県知事賞	1点: 賞状・賞品
横浜市長賞	1点: 賞状・賞品
横浜市長賞	1点: 賞状・賞品
群馬県観光物産国際協会理事長賞	1点: 賞状・賞品
NHK前橋放送局長賞	1点: 賞状・賞品

*グランプリは一般の部門およびポスターの部門から選ばれます。

ジュニアの部門(中学生以下)

最優秀賞	1点: 賞状・賞品(図書券5,000円分)
優秀賞	3点: 賞状・賞品(図書券2,000円分)
特選	3点: 賞状・賞品(図書券1,000円分)
特別賞	20点以上: 賞状・賞品

*ジュニアの部門には参加賞があります。

応募 規定

- ①プリントサイズは四切(ノートリ可)、ただし、ジュニアの部門は2Lまたはキャビネ。
 - ②応募できる作品数は、1名につき各部門5点以内とします。
 - ③写真の画像の合成、加工は不可とします。
 - ④作品は、事務局まで郵送または持参いただくか、群馬県写真材料商組合加盟店経由で応募してください。
 - ⑤平成28年1月1日以降に応募者本人が撮影した未発表および発表予定のない作品に限ります。他のコンテストや刊行物への二重応募またはその類似作品であると審査員が認めた場合は、入賞決定後でも取消しになります。
 - ⑥作品の裏面に応募用紙(コピー可)に所定の事項を記入し、必ず貼付してください。
- ※入賞作品は返却いたしません。

■問合せ・応募先 「やさい王国昭和村」フォトコンテスト実行委員会事務局
(企画課広報統計係) ☎24-5111(内線141)

百万遍(ナンマイダ)

昭和村ボランティアガイドの会

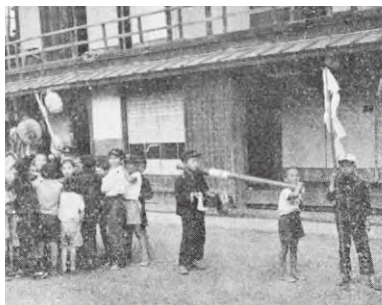
事務局長 島田 民夫

百万遍は「南無阿彌陀仏」を百万回唱える念仏行事である。期間内に念仏を百万回唱える、主に僧侶の修行として実施。一つは、千十顆の大念仏を念仏講中が車座になって「ナムアミダブツ」を一唱することにより一顆を繰り、(顆とは丸い粒状の物を数える言葉)全員の念仏の数が百万回になれば完了。回数が多いほど功德も多いと信じられた。

正平二十(一二三六五)年南北朝時代に念仏塔造立をみる。百万遍念仏は浄土信仰と平行して、怨霊鎮魂を目的に変化し、「虫送り」、「疫病送り」など民俗行事として現在も農村地域に存続する。

本村では「村誌久呂保」を見ると、百万遍(秋の虫おくり)の記事がある。椽久保南・北(三ツ谷)では毎年八月二十一日から七日間、子供達が主に、ボンゼン、鐘を叩き、ナンマイダを唱え巡廻し最後の日には御堂へ集まりご馳走(ねじ)を食べたという。

鎌沢でも同様な事を行っていた。永井では、九月二十日に当番の家で数珠を繰り二十日念仏を唱えるという。「糸之瀬村誌」は、糸井では六月末の農繁期に子供達が疫病を追いつめる目的で、「ナンマイダ」を行っている。十歳から十四歳位の男の子が集まり、夕方から夜間にかけて、ボン



ナンマイダ(糸之瀬村誌より)

ゼン、鐘、提灯が地域内を唱える。期間は四日間から一週間。その間頭が奉願を集め、最後の結願には集まったお金で、各家庭にお礼をし、子ども達には、学用品やお菓子を配り慰労する。現在、糸井地域内の一部では、子供の数が少なく女子も参加して存続しているが、旧久呂保では永井を除き行っていないのが現状である。

参照 日本石仏事典(庚申懇話会編)

地域包括支援センターだより

地域にとって大切な場所、サロンの活性化を目指して！

～第9回きずなサポーター会議(10月26日)の報告～

村の特産こんにゃく芋の収穫がはじまる中、31人のきずなサポーターが集まりました。内容は、ながいサロンの活発な活動紹介と、内田病院音楽療法士の高橋由貴子先生による楽しいタオル体操指導で、笑顔の絶えない有意義な時間となりました。

ながいサロンは、活動開始から10年。筋トレサロンをはじめたことで、平成27年には老人会が復活、花植えやグランドゴルフ、草刈りに輪投げと様々な活動に積極的に参加する皆さんの様子が写真で紹介されました。手芸をする時は、午前中から集まって作品を作り、みんなで昼食を食べ、午後は筋トレをする1日コース。「昨日も、村文化祭出展に向けて皆で集まり、作品作りと筋トレに1日励みました」と代表の藤井君枝さんから発表があり、一緒にサロンを支える

きずなサポーターの諸田みち子さんと諸田はま江さんから作品の紹介がありました。

高橋先生からは、「体を動かす意図と効果」と題して、タオルを使った楽しい体操が紹介され、参加者は音楽とともに体を動かしながら効果を実感していました。



サロン紹介をする、
ながいサロンの皆さん



音楽に合わせて
タオル体操

次回きずなサポーター会議は、12月14日(金)午前9時30分～ 地域活性化センター

地域包括支援センターはサロンを応援しています！